

製品安全データシート

作成 2006年4月26日
改訂 2012年2月1日

1. 製品及び会社情報

製品名 : サンケイテロン
 会社名 : サンケイ化学株式会社
 住所 : 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1-13-1
 担当部門 : 開発部
 電話番号 : 048-572-4171
 F A X 番号 : 048-572-4174
 緊急連絡先 : 同上
 整理番号 : B-78
 推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 :
 GHS分類
 物理化学的危険性 引火性液体 : 区分3
 健康に対する有害性 自然発火性液体 : 区分外
 自己発熱性化学品 : 区分外
 急性毒性(経口) : 区分3
 急性毒性(経皮) : 区分3
 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外
 急性毒性(吸入:蒸気) : 区分3
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2A
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 区分1
 生殖細胞変異原性 : 区分外
 発がん性 : 区分2
 生殖毒性 : 区分外
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分2(呼吸器)
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分2(胃)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性 水生環境有害性(急性) : 区分1
 水生環境有害性(慢性) : 区分1

GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気
 : 飲み込むと有毒(経口)
 : 皮膚に接触すると有毒(経皮)
 : 吸入すると有毒(蒸気)
 : 皮膚刺激性
 : 強い眼刺激
 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 : 発がんのおそれの疑い
 : 吸入暴露による呼吸器の障害のおそれ
 : 長期又は反復経口暴露による胃の障害のおそれ
 : 水生生物に非常に強い毒性
 : 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

- 注意書き 【安全対策】
- : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 - : 全ての安全注意を読み理解するまで、取り扱わないこと。
 - : 熱、火花、裸火など着火源から遠ざけること。
 - : 静電的に敏感な物質を物質を積み直す場合は容器及び受器を接地結合すること。
 - : 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
 - : 静電気放電に対する予防措置を講じること。
 - : 火花を発生しない工具を使用すること。
 - : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
 - : ミスト、蒸気、ガスを吸入しないこと。
 - : 野外又は換気のよい区域でのみ使用すること。
 - : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - : 環境への放出を抑えること。
- 【救急措置】
- : 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
 - : 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣服等を全て脱ぎ、又は取り除き、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 - : 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。
 - : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は外すこと。その後の洗浄も続けること。
 - : 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
 - : 飲み込んだ場合、吐き出させず、直ちに医師の連絡すること。
 - : 暴露またはその懸念がある場合、医師の手当てを受けること。
- 【保管】
- : 容器を密閉して、換気のよい場所で保管すること。
 - : 施錠して保管すること。
- 【廃棄】
- : 内容物や容器を都道府県知事の許可を得た専門の産業廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別	混合製品	
化学名及び (有効成分)	1,3-ジクロロペン	97.0%
含有量 (その他成分)	有機溶媒 等	3.0%
化学式又は構造式	1,3-ジクロロペン ... C ₅ H ₄ Cl ₂	

成分	含有量	CAS. No.	PRTR 法	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
1,3-ジクロロペン	97%	542-75-6	1-179	2-125	9-256

4. 応急措置

- 吸入した場合
- : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努め、異常が続く場合は速やかに医師の手当を受けること。
- 眼に入った場合
- : 直ちに多量の清浄水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合
- : 直ちに石けんで良く洗い落とすこと。
 - : 作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。
 - : 異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合
- : 吐かせないで、保温して安静にしながら、直ちに医師の手当を受けさせること。

5. 火災時の措置

- 消火剤
- : 泡、粉末、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤
- : 棒状注水
- 火災時の特有の有害性
- : 加熱により、容器が爆発するおそれがある。
 - : 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法
- : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 - : 速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
 - : 容器及び周辺設備に散水して冷却する。
 - : 消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 : 漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 悪臭又は刺激性が強いので、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。
 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
 : 漏出液が河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。
- 除去方法(回収、中和) : 少量の場合は、吸着剤(オガクズ・土・砂・ウエス等)に吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 : 大量の場合は、土砂等(の不燃物)で困って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。
 : 水上に流出した非水溶性の製品は、吸収剤を使用して回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
 : 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
 : 屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
 : 取扱いの都度、容器を密閉する。
 : 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
 : 保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 取扱い 技術的対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
 : 火気厳禁
- 局所排気・全体排気 :
 注意事項 : 該当なし
 安全取扱い注意事項 : 該当なし
 保管 適切な保管条件 : 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。
 安全な容器包装材料 : ポリエチレン瓶、金属缶

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いの際はできるだけ密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。
 取扱場所の近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。
- 暴露限界値 管理濃度 : 未設定
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 未設定
 ACGIH 1ppm(TLV-TWA)
- 測定方法 : 情報なし
- 保護具 呼吸用保護具 : 吸収缶(有機ガスフィルタ付)付き防護マスク着用
 保護眼鏡 : 着用
 保護手袋 : 不浸透性手袋着用
 保護衣 : 長ズボン・長袖の作業衣着用

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡黄色澄明液体
 臭い : 刺激臭
 pH : 4.0~6.0(1%水溶液)
 融点・凝固点 : -84℃
 沸点、初期点及び沸騰範囲 : 104~110℃
 引火点 : 27.5℃
 発火点 : 情報なし
 燃焼性 : 情報なし
 燃焼又は爆発範囲 : 情報なし
 蒸気圧 : 4850Pa
 密度・比重 : 1.225(20℃)
 溶解度 : 水:2g/L
 オクタノール/水分配係数 : 1.82
 分解温度 : 情報なし
 解離定数 : 情報なし
 粘度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 加水分解 半減期 11.3 日
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤、アルカリ金属、アルカリ土類金属、金属粉末と激しく反応
 加圧状態で爆発する可能性あり。
 避けるべき条件 : 加熱、高温の表面、火花・裸火、混合危険物質との接触
 混触危険物質 : アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、カドミウムおよびそれらの合金性容器との接触は金属の腐食
 の原因となるので避けること。
 危険有害な分解生成物 : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、ホスゲンなどを生じる。

11. 有害性情報

- 急性毒性(経口) : ラット ♂ 300mg/kg、♀ 224mg/kg
 急性毒性(経皮) : ラット ♂♀ 333mg/kg
 急性毒性(吸入:ガス) : 情報なし
 急性毒性(吸入:蒸気) : ラット ♂ 855~1035ppm、♀ 904ppm
 皮膚腐食性/刺激性 : 刺激性あり
 眼に対する重篤な損傷
 /刺激性 : 中等度の刺激性
 呼吸器感受性 : 情報なし
 皮膚感受性 : 陽性
 生殖細胞変異原性 : 陰性
 発がん性 : IARC 分類 2B、IRIS 分類 L
 生殖毒性 : 陰性
 特定標的臓器/全身毒性
 (単回暴露) : 急性吸入毒性試験において、肺葉出血を含む刺激性あり。
 特定標的臓器/全身毒性
 (反復暴露) : 13 週間亜急性経口毒性試験において、胃粘膜の角化こう進、基底細胞過形成が認め
 られた。
 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

12. 環境影響情報

- 生態毒性 魚(コイ) : LC50 : 0.79ppm (96h)
 甲殻類(ミジンコ) : EC50 : 3.56kg/L (48h)
 藻類 : EC50 : 15.2mg/L (0-96h)
 残留性/分解性 : 情報なし
 生体蓄積性 : 情報なし
 土壌中の移動性 : 情報なし
 その他 : 蚕に影響あり

13. 廃棄上の注意

- : 使用残りの農薬を不注意に廃棄したり、不要になった農薬を放置したりすると思
 わぬ事故を引き起こすことがあるので、その処理に当たっては関係法令を遵守し
 適正な処理を行うこと。
 また、空容器、空袋等の処理は、関係法令を遵守し、廃棄物処理業者に処理を委託
 する等により適切に行うこと。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 国連分類 : クラス 6.1
 国連番号 : UN 2903
 品名 : 農薬、液体、毒性、引火性、N.O.S
 容器等級 : II
 国内規制 : 国内法(消防法、毒劇法)の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
 輸送の特定の
 安全対策及び条件 : 引火性液体なので火気厳禁
 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がな
 いよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 : 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に
 必要な消化器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 1,3ジクロロペン (1-179)
労働安全衛生法	: 1,3ジクロロペン (9-256)
毒劇物取締法	: 医薬用外劇物
消防法	: 第4類 第2石油類 (非水溶性)
化審法	: 1,3ジクロロペン (2-125)
船舶安全法	: 危規則第2,3条危険物告示別表第1引火性液体類
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体類
農薬取締法	: 登録番号 第22033号

16. その他の情報

引用文献	: 最新農薬データブック
	: 製品評価技術基盤機構のHP参照
	: MSDS

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。